

2015年度 決算説明会

第92期(2015年4月1日～2016年3月31日)

2016年5月18日



太平洋工業株式会社

目 次

1. 会社の概要
2. 2015年度実績ならびに
2016年度予想
3. 長期ビジョン・中期経営計画
4. コーポレートガバナンス

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概況

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 45億円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業		その他	合計	
事業			タイヤバルブ・制御機器事業	TPMS事業			
連結	'15売上高	744億円（70%）	320億円（30%）		3億円（0%）	1,068億円	
	人 員	2,230人	1,000人		60人	3,450人	
	海外生産拠点	台湾・米国 中国・タイ	台湾・韓国・タイ		米国 中国	5ヶ国 10工場	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ、バルブコア 空調用制御弁 カーエアコン用コンプレッサー部品		TPMS	ソフトウェア 保険代理店	
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVIナジー	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン、HANON ヴァレオ、パナソニック、東芝		トヨタ 日産 ホンダ	地域企業	
単独	'15売上高	397億円（63%）	110億円（17%）		123億円（20%）	—	631億円
	主要工場	西大垣・東大垣・養老 九州・栗原・若柳	美濃・北大垣		北大垣	—	国内8工場

1-2 企業結合の状況

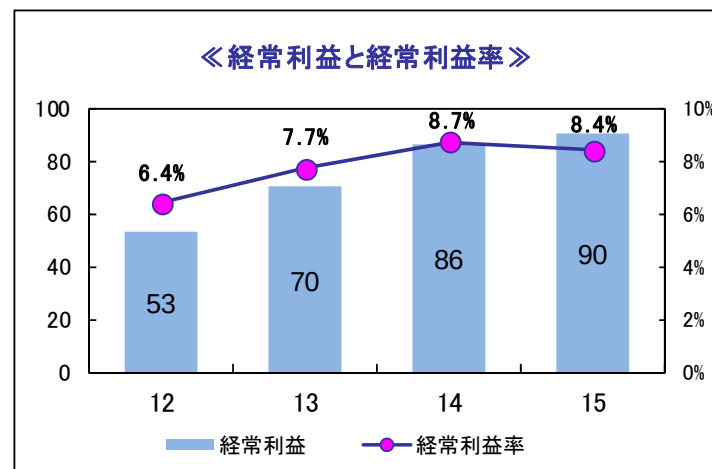
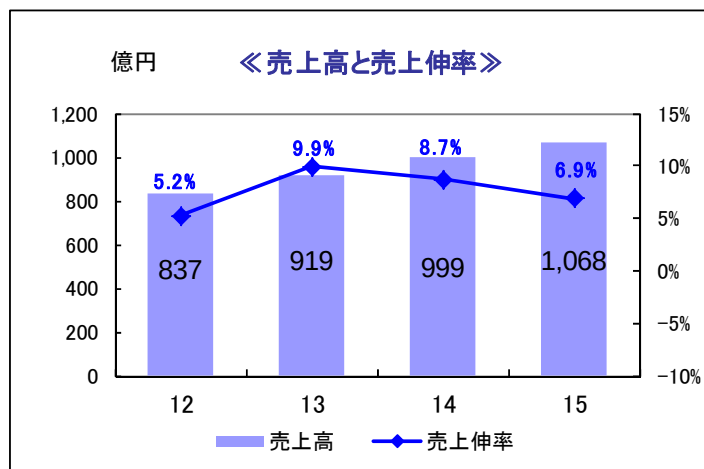
プレス・樹脂製品事業		バルブ製品事業	その他
連結	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 1984年設立 売上高:58億円 人員:280人	国内連結子会社
	タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd 1989年設立 売上高:24億円 人員:240人	ピーアイシステム(株) 1987年設立 売上高:7億円 人員:60人
	米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc. 1999年設立 売上高:271億円 人員:540人	
		Pacific Manufacturing Tennessee, Inc. 2014年設立 人員:40人	
中国	天津太平洋汽車部件有限公司 2005年設立 売上高:80億円 人員:220人	太平洋バルブ工業株式会社 1987年設立 売上高:17億円 人員:80人	持株会社等
	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 2011年設立 売上高:11億円 人員:95人	太平洋エアコントロール工業株式会社 2004年設立 売上高:45億円 人員:185人	Pacific Industries USA Inc. 1988年設立
国内	太平洋産業株式会社 1974年設立 売上高:10億円 人員:20人	中国 太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司 2014年設立 人員:25人	太平洋工業(中国) 投資有限公司 2012年設立
持分法適用会社	PECホールディングス株式会社(日本) 1961年設立 売上高:199億円 人員:940人	欧州 (非連結) Pacific Industries Europe NV/SA 2012年設立	※2015年9月30日をもって ゴルフ場事業を譲渡し、 太平洋開発(株)、太養興産(株) の2社を連結子会社から除外

2-1 連結業績実績

[百万円]

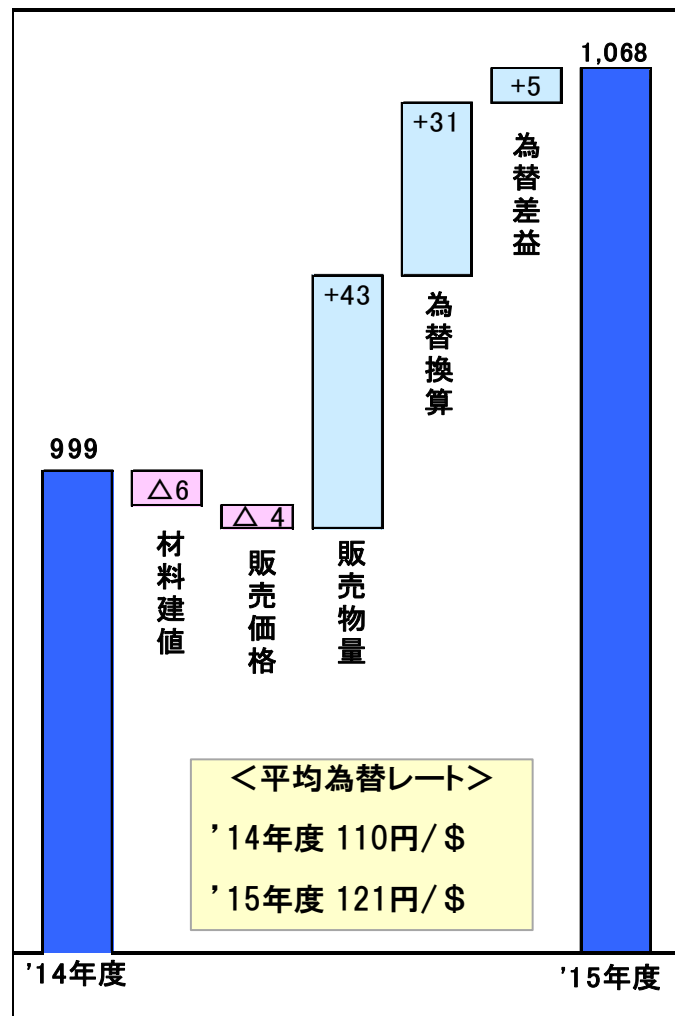
	14年度	15年度							
		15年10月 発表値	実績	連単 倍率	前期比		発表値比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	99,952	104,500	過去最高 106,886	1.7	6,934	6.9%	2,386	2.3%	
営業利益	6,962	7,700	過去最高 7,869	1.5	907	13.0%	169	2.2%	
経常利益	8,691	8,800	過去最高 9,013	1.4	322	3.7%	213	2.4%	
※1 親会社当期純利益	6,714	6,400	過去最高 7,114	1.3	399	6.0%	714	11.2%	
売上経常利益率	8.7%	8.4%	8.4%		△0.3%		0.0%		
ROE	10.2%	—	9.7%		△0.5%		—		
ROA	6.9%	—	6.8%		△0.1%		—		
一株当たり純資産 (円)	1,385	—	1,339		△45		△3.3%		—

※1「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。

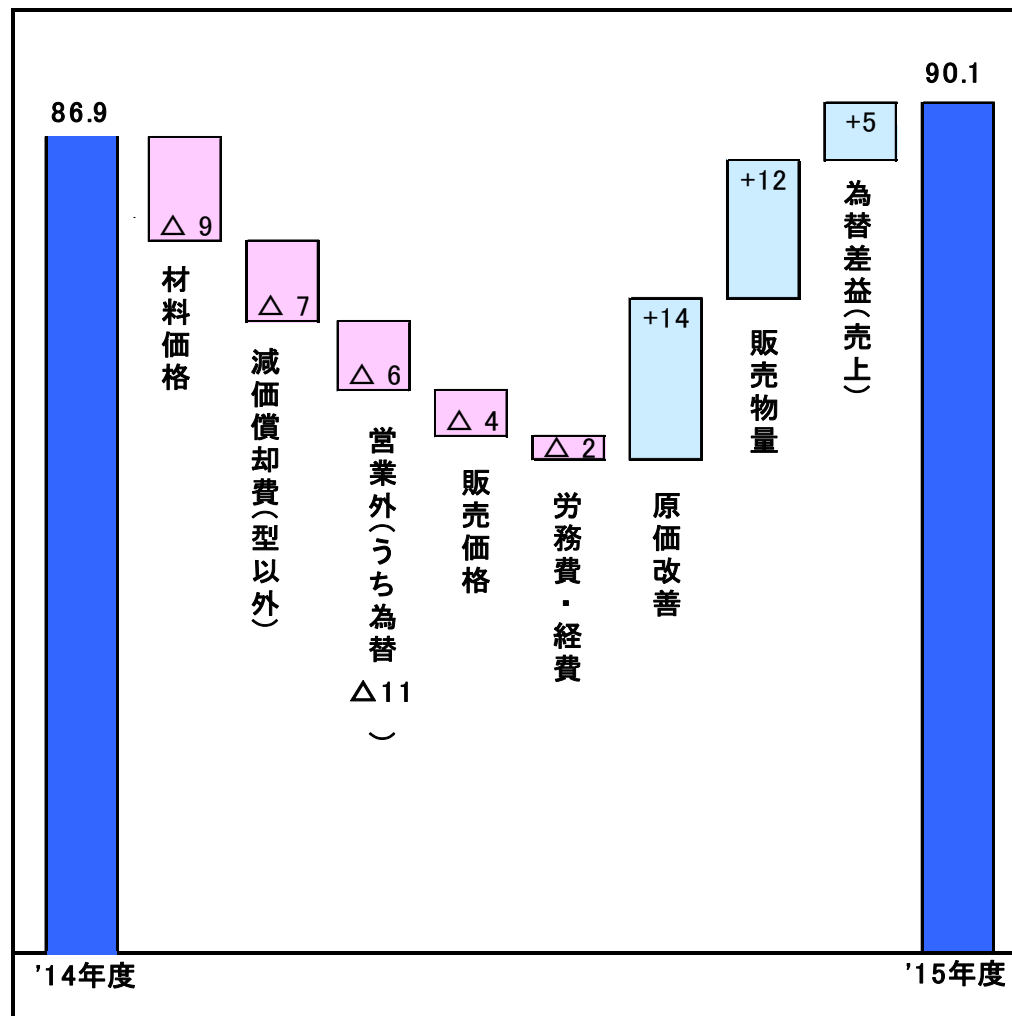


2-2 連結売上高・経常利益増減要因

《15年度 対 14年度》
売上高 +69億円



《15年度 対 14年度》
経常利益 +3億円

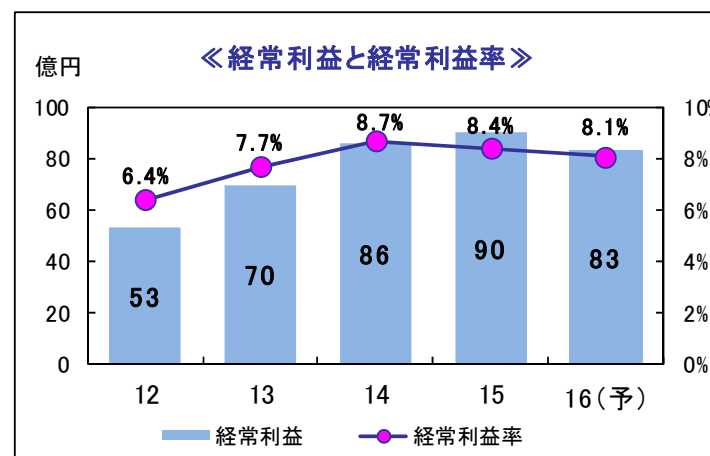
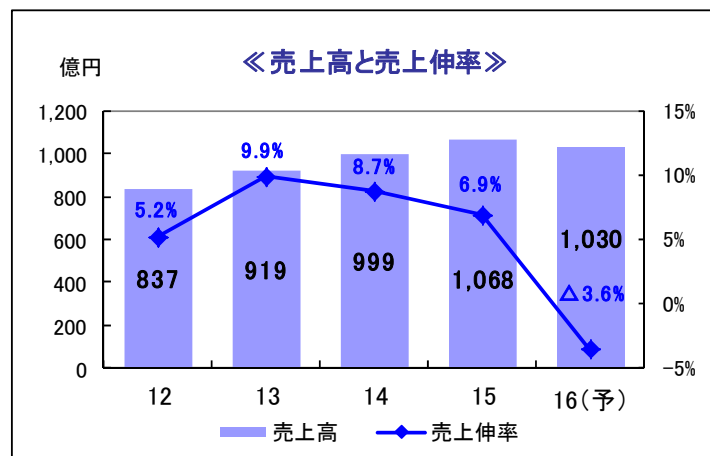


2-3 連結業績予想

〔百万円〕

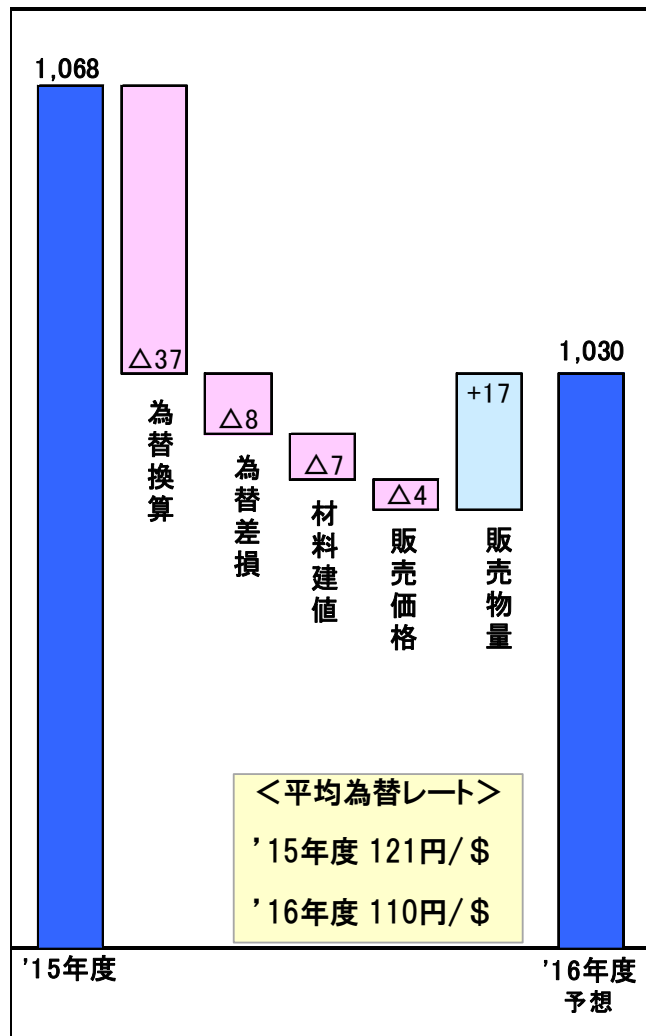
	14年度	15年度				16年度			
		実績	連単 倍率	前期比		予想	連単 倍率	前期比	
				増減	増減率			増減	増減率
売上高	99,952	過去最高 106,886	1.7	6,934	6.9%	103,000	1.6	△3,886	△3.6%
営業利益	6,962	過去最高 7,869	1.5	907	13.0%	7,200	1.4	△669	△8.5%
経常利益	8,691	過去最高 9,013	1.4	322	3.7%	8,300	1.3	△713	△7.9%
※1 親会社当期純利益	6,714	過去最高 7,114	1.3	399	6.0%	6,000	1.3	△1,114	△15.7%
売上経常利益高率	8.7%	8.4%	/	△0.3%	/	8.1%	/	△0.3%	/
ROE	10.2%	9.7%	/	△0.5%	/	8.0%	/	△1.7%	/
ROA	6.9%	6.8%	/	△0.1%	/	6.3%	/	△0.5%	/
一株当たり純資産	(円) 1,385	1,339	/	△45	△3.3%	1,423	/	84	6.6%

※1「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。

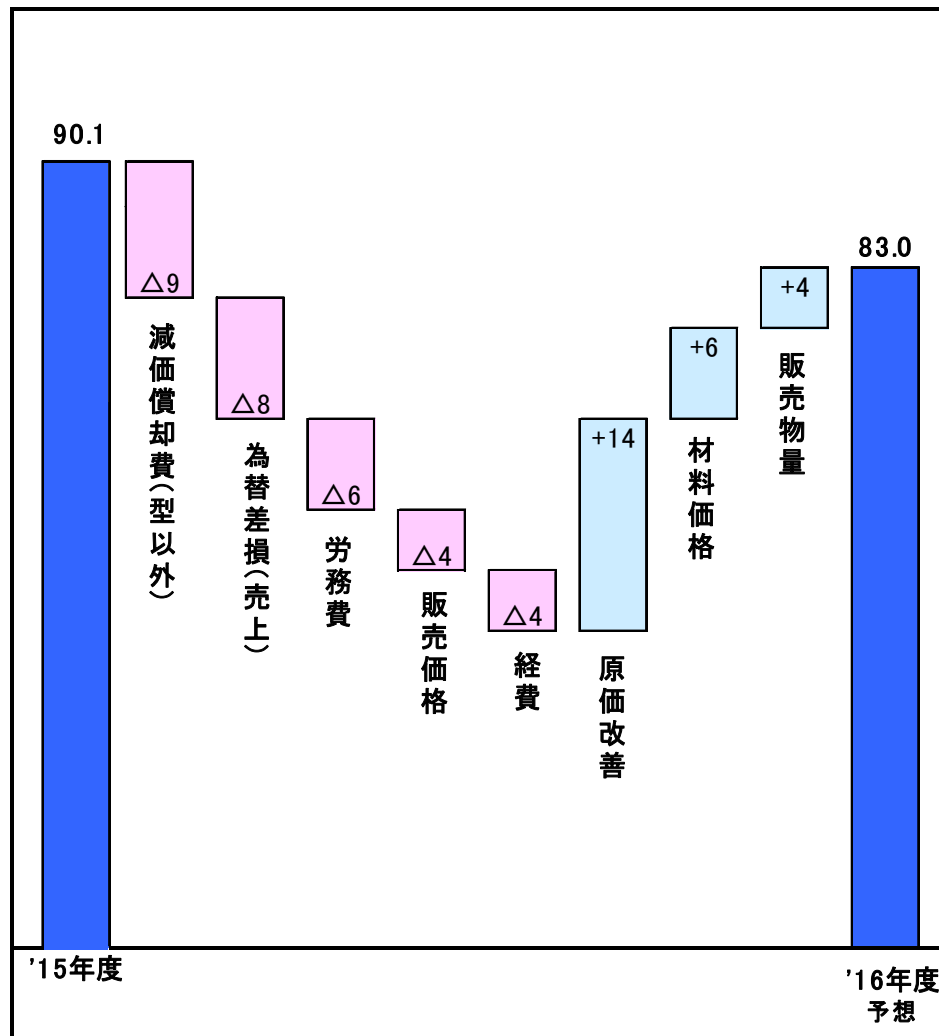


2-4 連結売上高・経常利益増減要因(予想)

《16年度予想 対 15年度》
売上高△39億円



《16年度予想 対 15年度》
経常利益△7億円

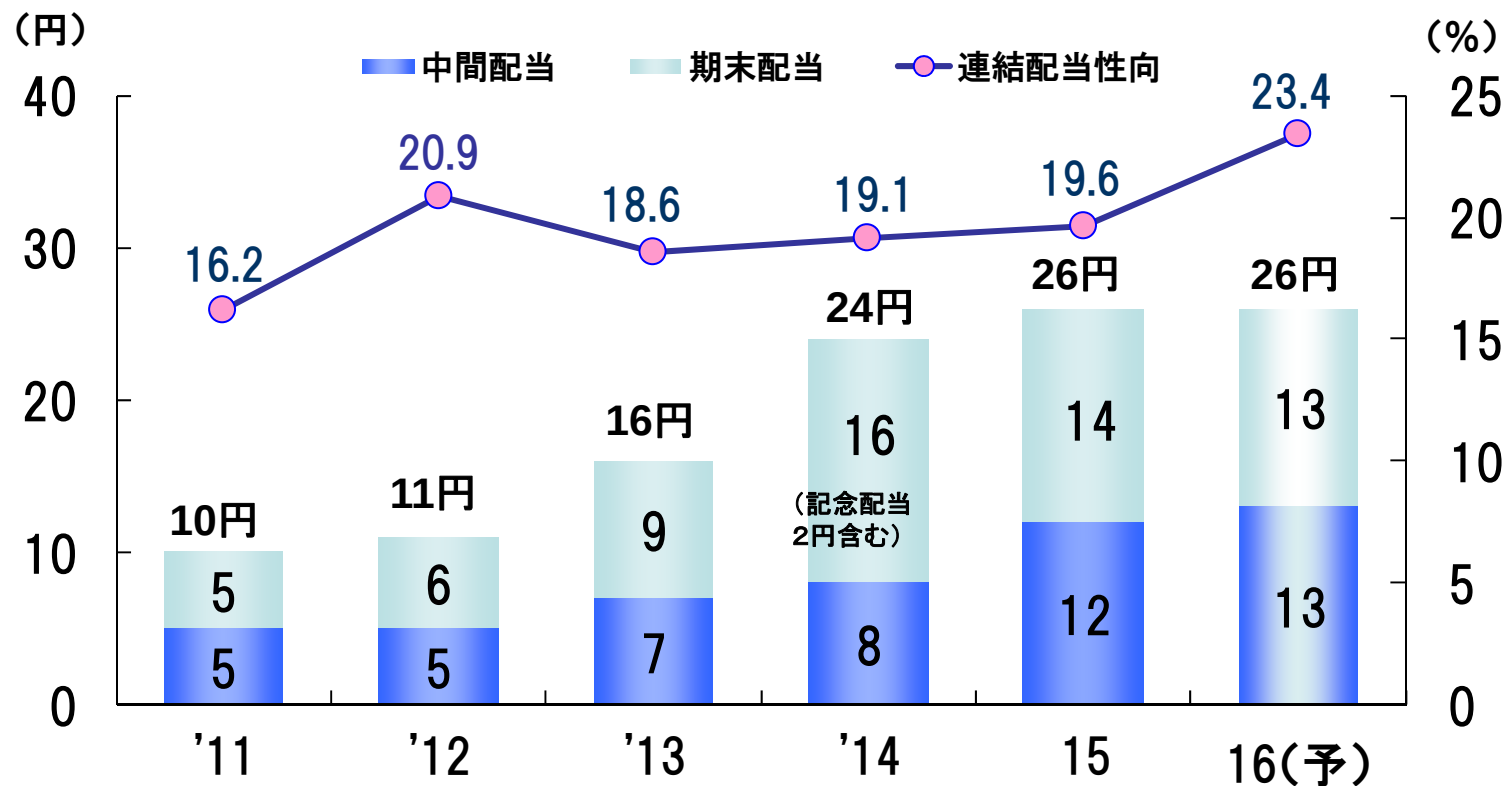


2-5 株主還元

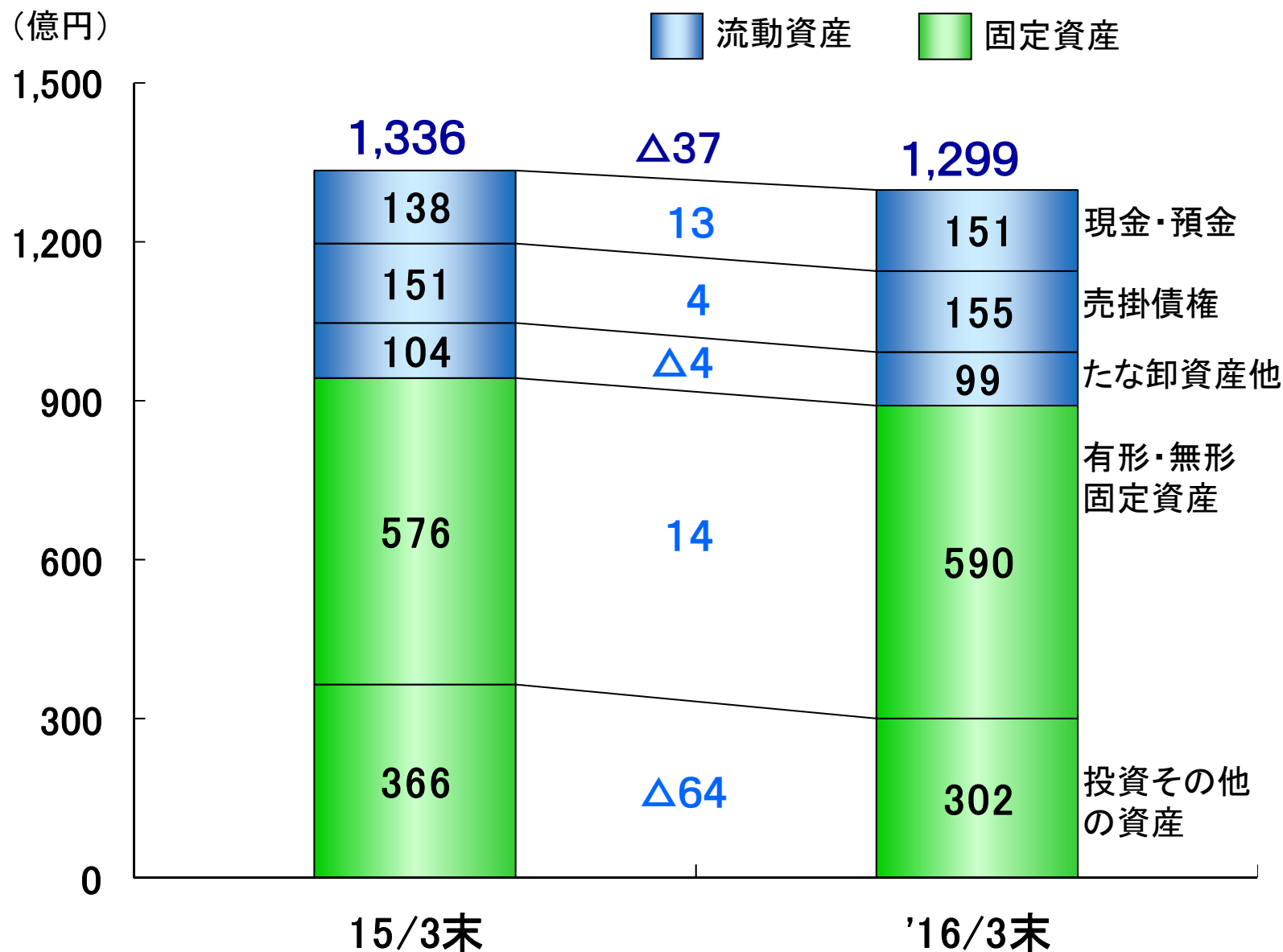
■年間配当

2015年度 年間:26円(中間:12円 期末:14円)

2016年度予想 年間:26円(中間:13円 期末:13円)



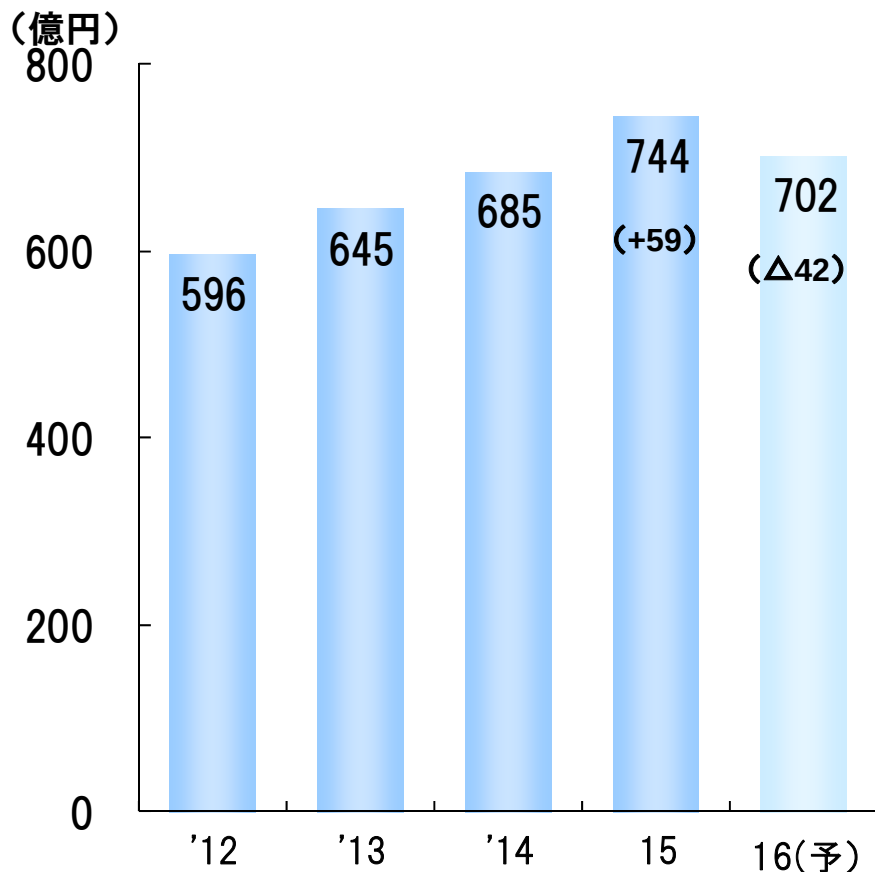
2-6 連結貸借対照表



2-7 事業別セグメント: プレス樹脂製品事業

11

売上高

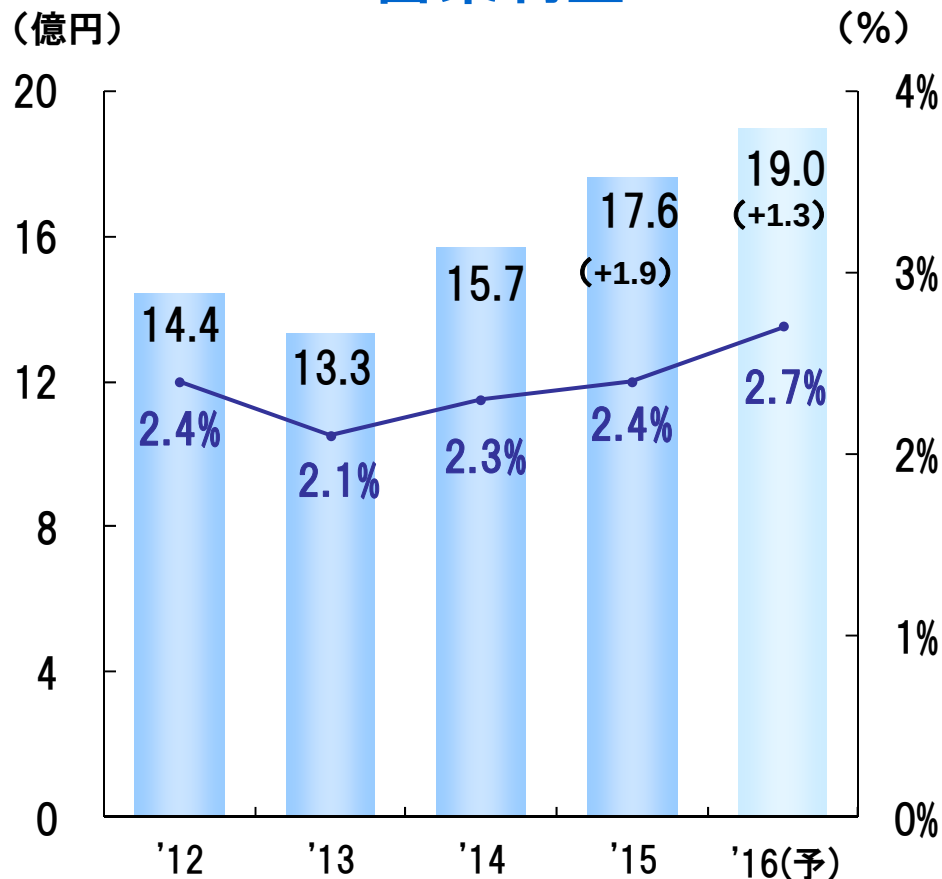


<売上高>

2015年度は、主要顧客の自動車生産が堅調に推移し、為替影響も加わり、売上高は前期を上回る。

2016年度は、日本では当期並みの売上を確保するものの、円高影響、海外での金型売上の減少等により、当期を下回る見込み。

営業利益



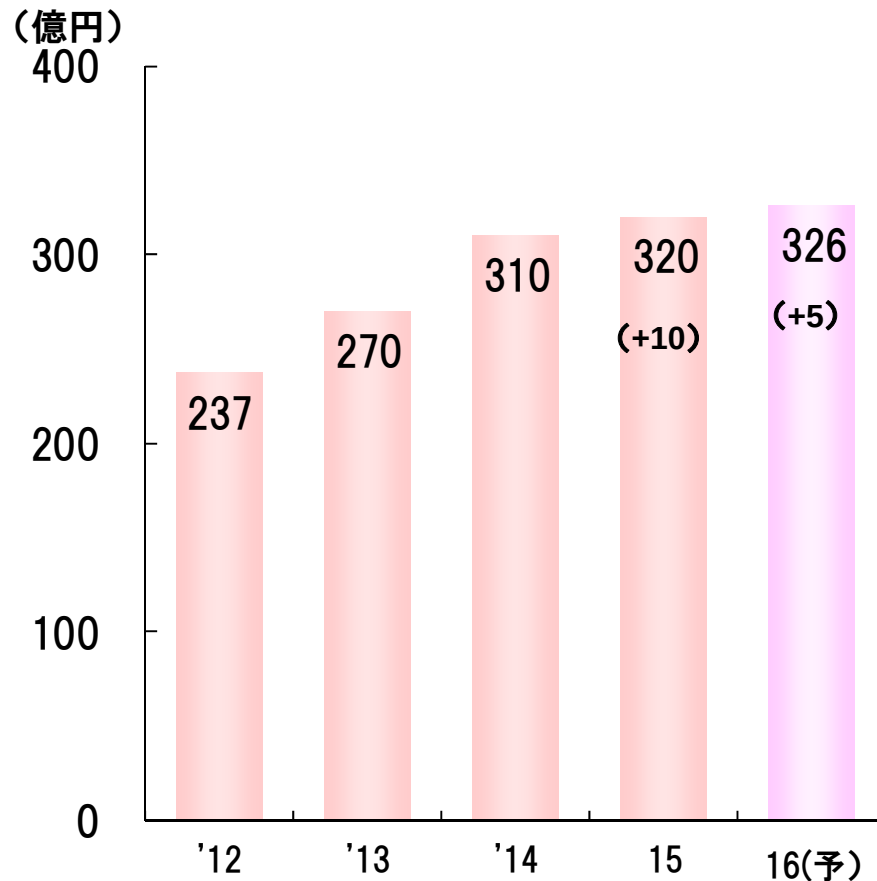
<営業利益>

2015年度は、スクラップ価格下落の影響、減価償却費増加があるものの、販売増加、原価改善が寄与し、増益。

2016年度は、減価償却費の増加、物量の減少があるものの、原価改善等により増益を確保見込み。

2-8 事業別セグメント:バルブ製品事業

売上高

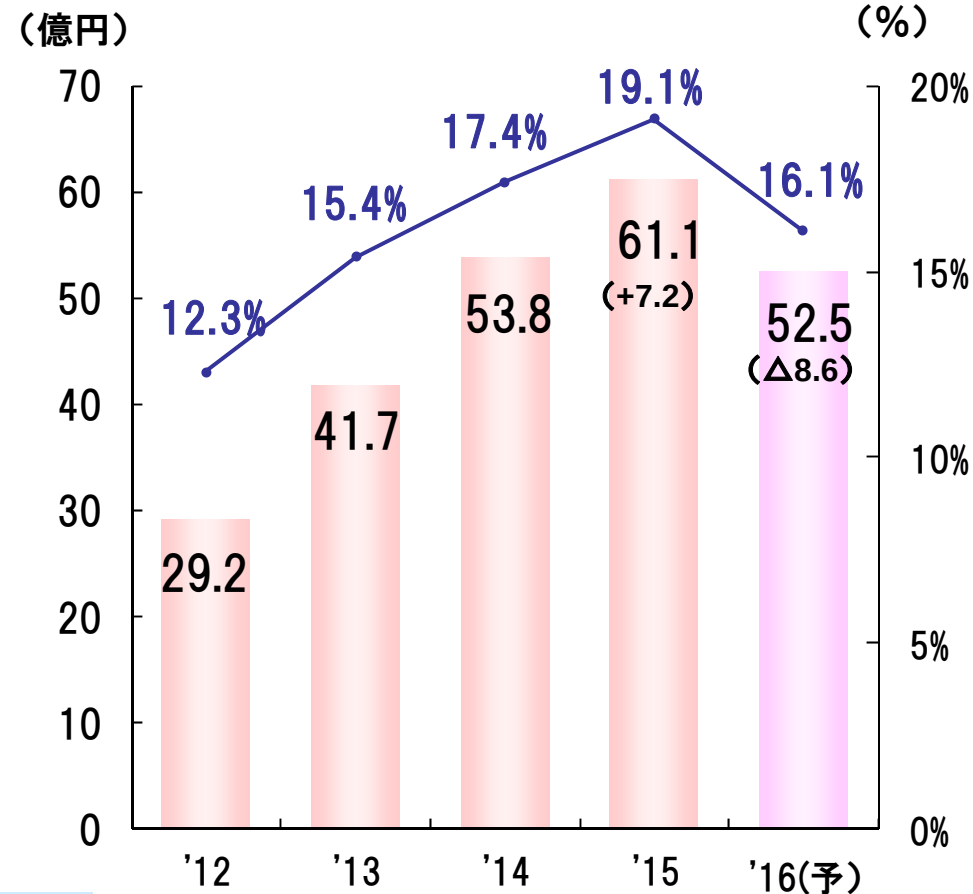


<売上高>

2015年度は、TPMS製品の販売が順調に推移したことに加え、円安による為替影響もあり、売上高は前期を上回る。

2016年度は、円高による為替影響があるものの、中国におけるTPMS製品の生産開始に伴い、当期並みの売上高を確保見込み。

営業利益



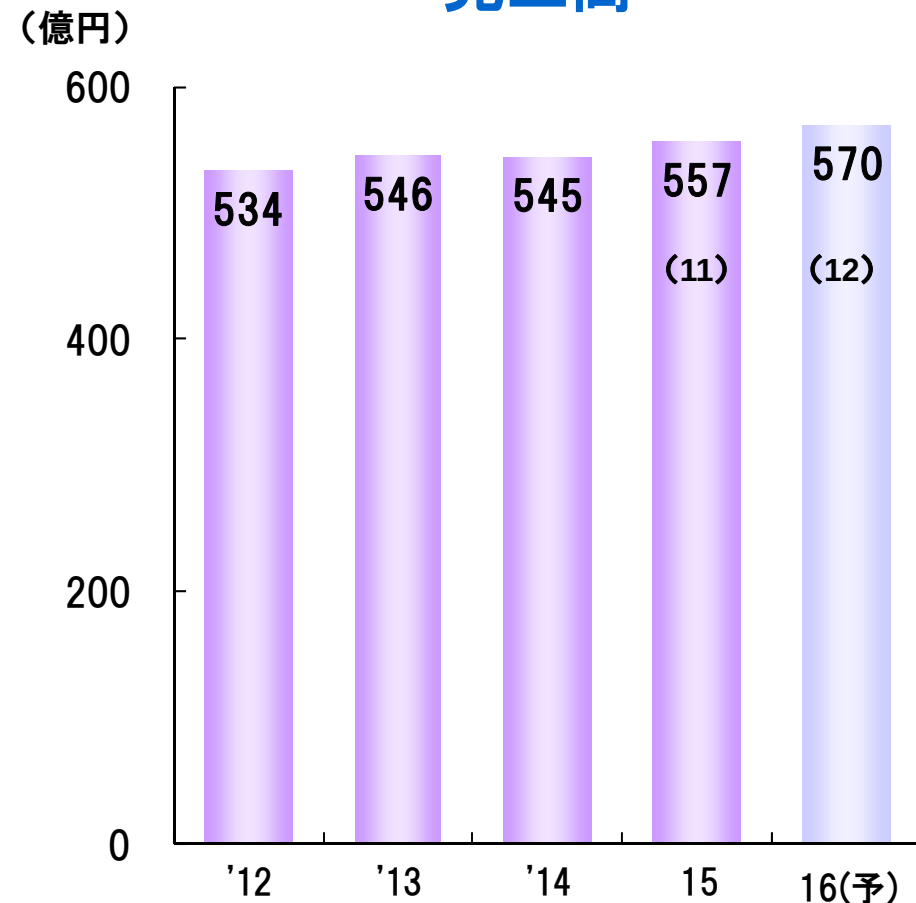
<営業利益>

2015年度は、新設会社立上げによるコスト負担増等があるものの為替差益、原価改善が寄与し、増益。

2016年度は、物量増加や材料価格のプラスがあるものの、販売価格低下、円高による影響が大きく、減益見込み。

2-9 地域別セグメント:日本

売上高

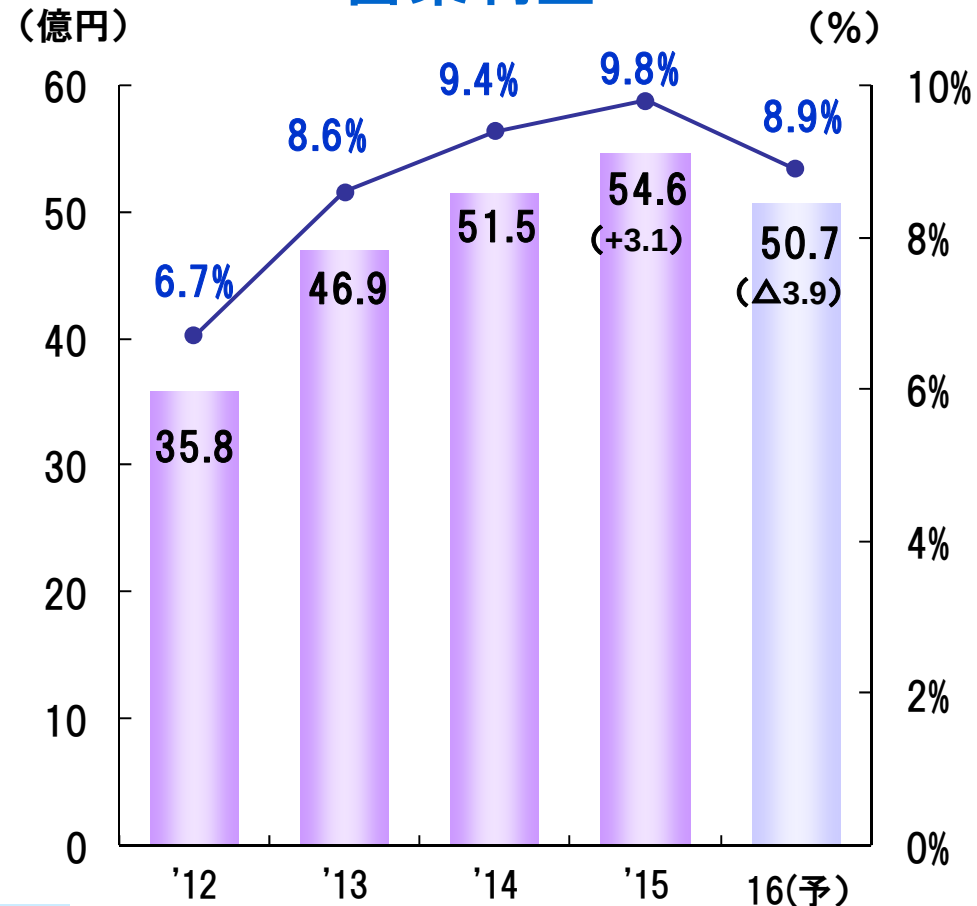


<売上高>

2015年度は、主要顧客の自動車生産が比較的堅調に推移したことに加え、円安による為替影響もあり、売上高は前期を上回る。

2016年度は、円高影響があるものの、主要顧客の自動車生産が堅調に推移し、拡販も加わり当期の売上高を上回る見込み。

営業利益

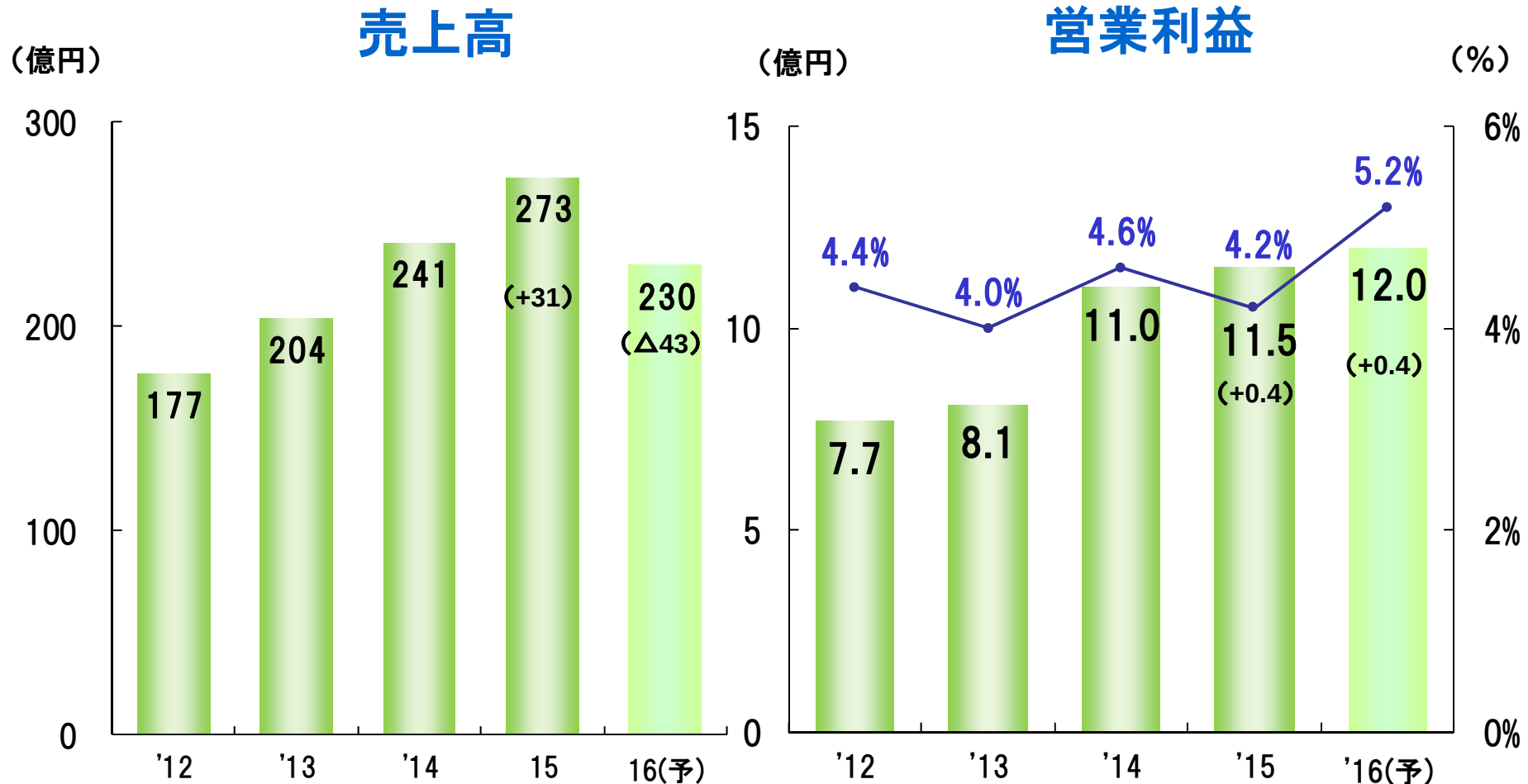


<営業利益>

2015年度は、材料価格影響、減価償却費増加があるものの、原価改善、為替差益等が寄与し、増益。

2016年度は、物量増加があるものの、円高影響に加え、減価償却費の増加等により減益見込み。

2-10 地域別セグメント:北米



<売上高>

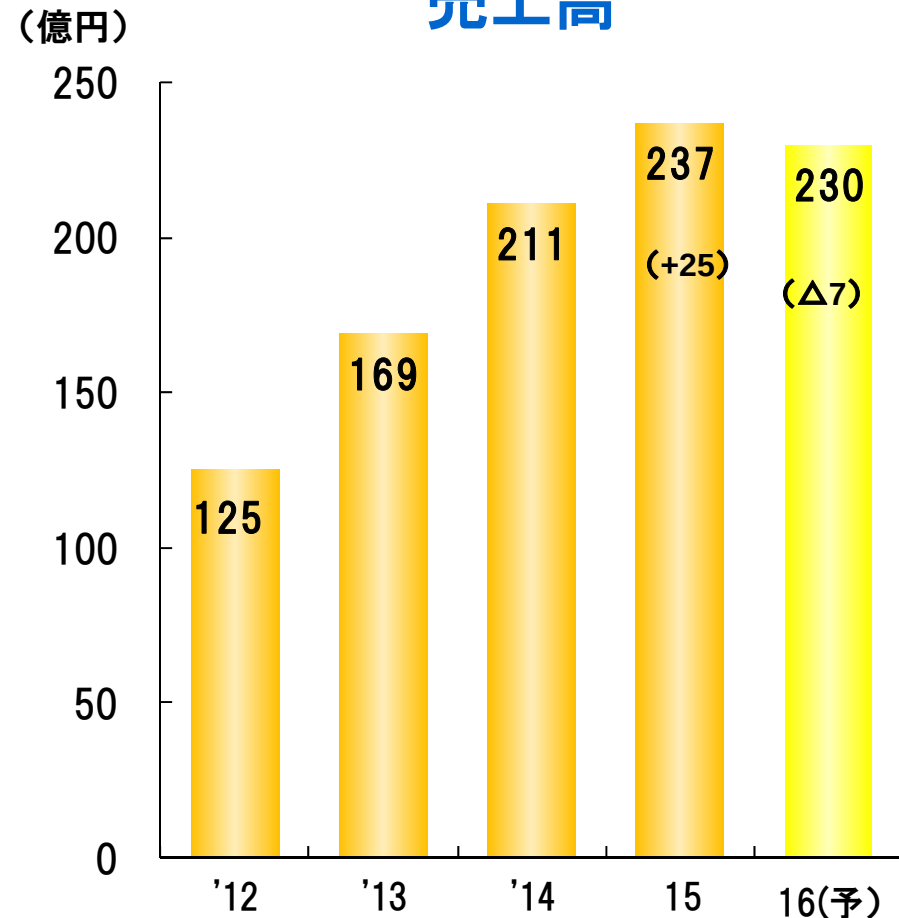
2015年度は、主要顧客の自動車生産台数が順調に推移し、金型売上の増加、為替影響もあり、売上高は前期を上回る。
2016年度は、金型売上の減少、円高による為替影響などにより、売上高は当期を大きく下回る見込み。

<営業利益>

2015年度は、新設会社立上げによるコスト負担増があるものの為替差益、販売物量の増加が寄与し増益。
2016年度は、販売物量の減少等が見込まれるものの、原価改善、経費節減等により増益見込み。

2-11 地域別セグメント:アジア

売上高

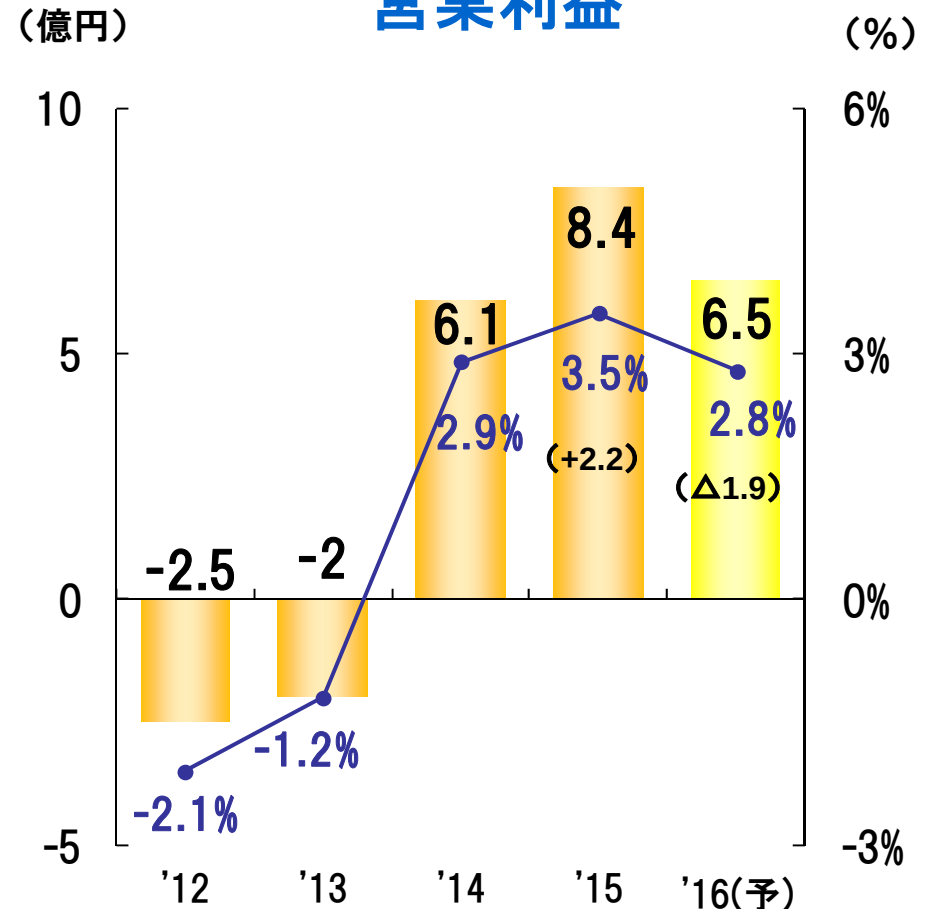


<売上高>

2015年度は、主要顧客の自動車生産が順調に増加し、円安による為替影響もあり、売上高は前期を上回る。

2016年度は、中国でのTPMS生産開始に伴う売上増加があるものの、円高影響、金型売上の減少等により、売上高は当期を下回る見込み。

営業利益

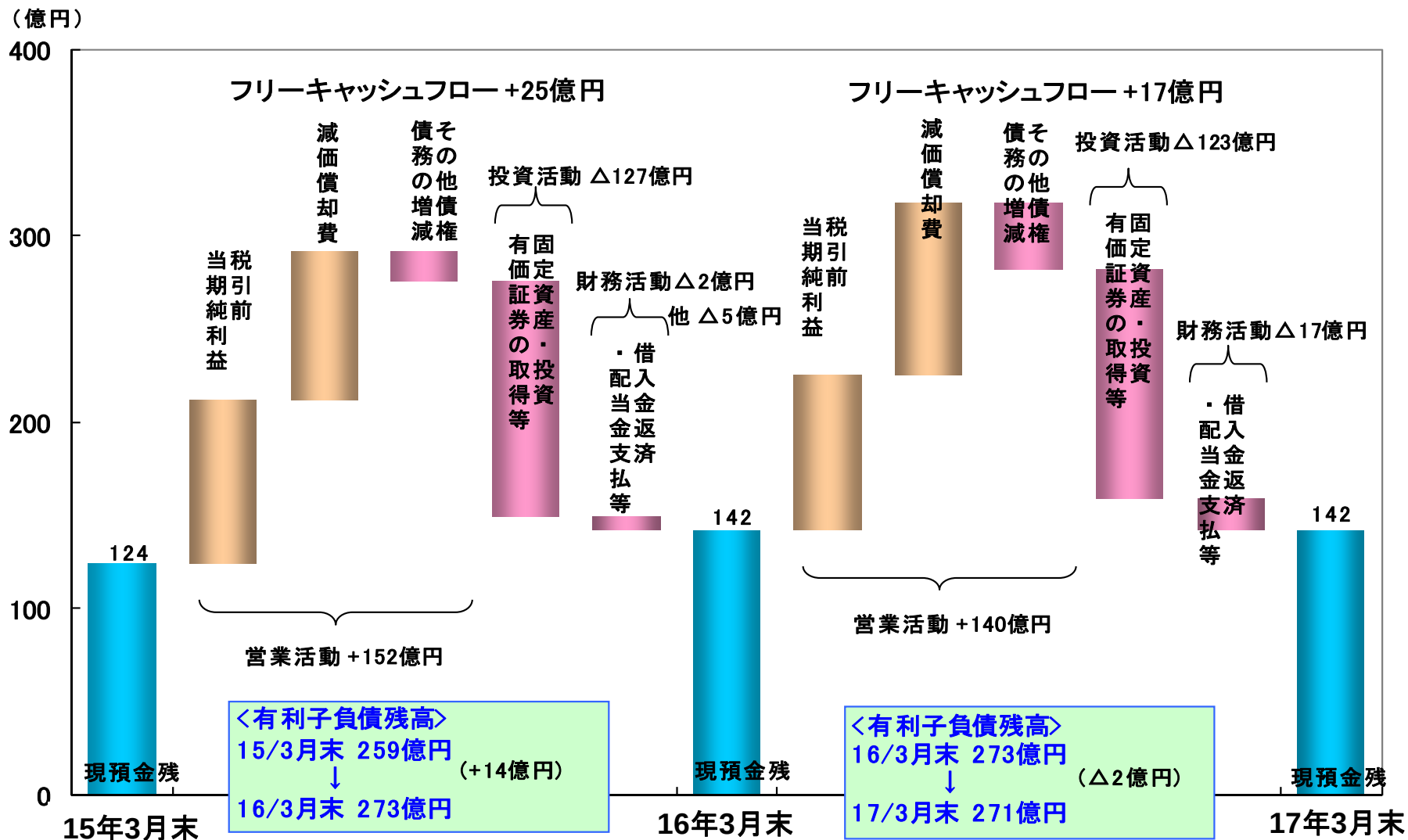


<営業利益>

2015年度は、新設会社立上げによるコスト負担増があるものの、為替差益、原価改善が寄与し、増益。

2016年度は、販売物量の減少、減価償却費の増加などにより減益を見込む。

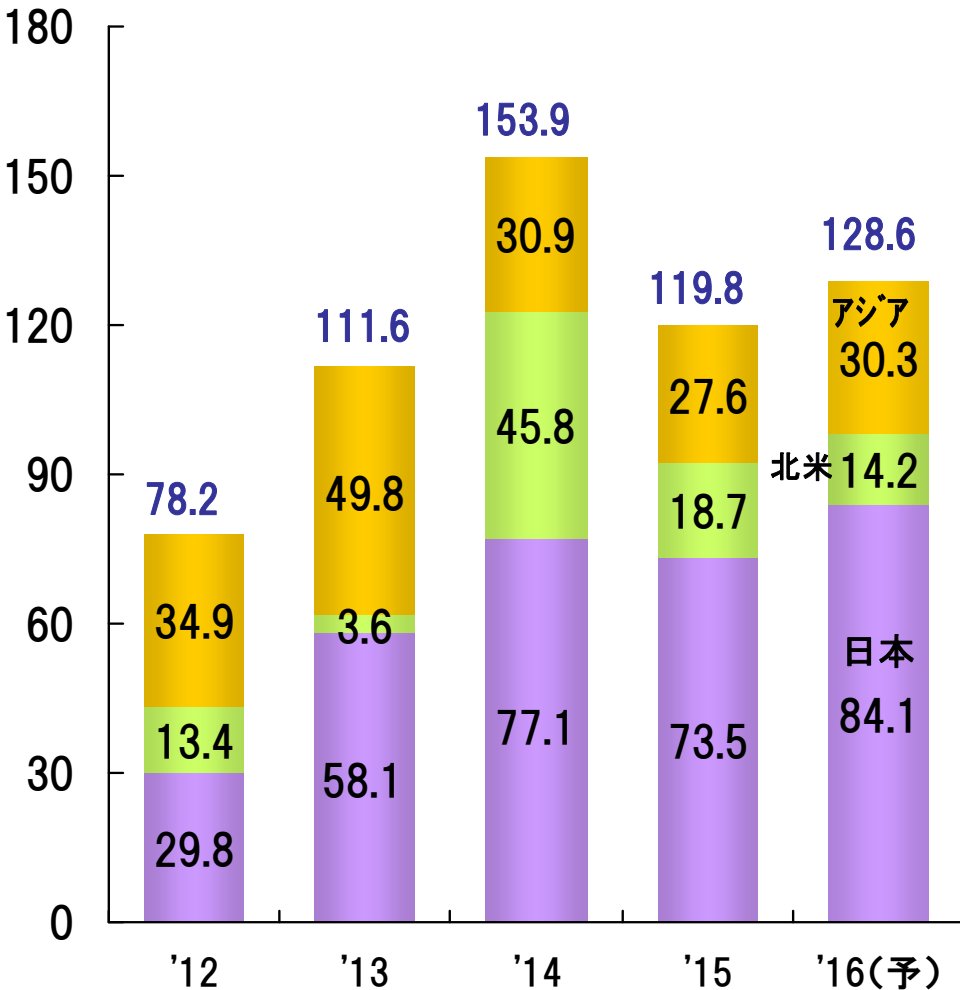
2-12 連結キャッシュフロー予想



2-13 連結設備投資・減価償却費予想

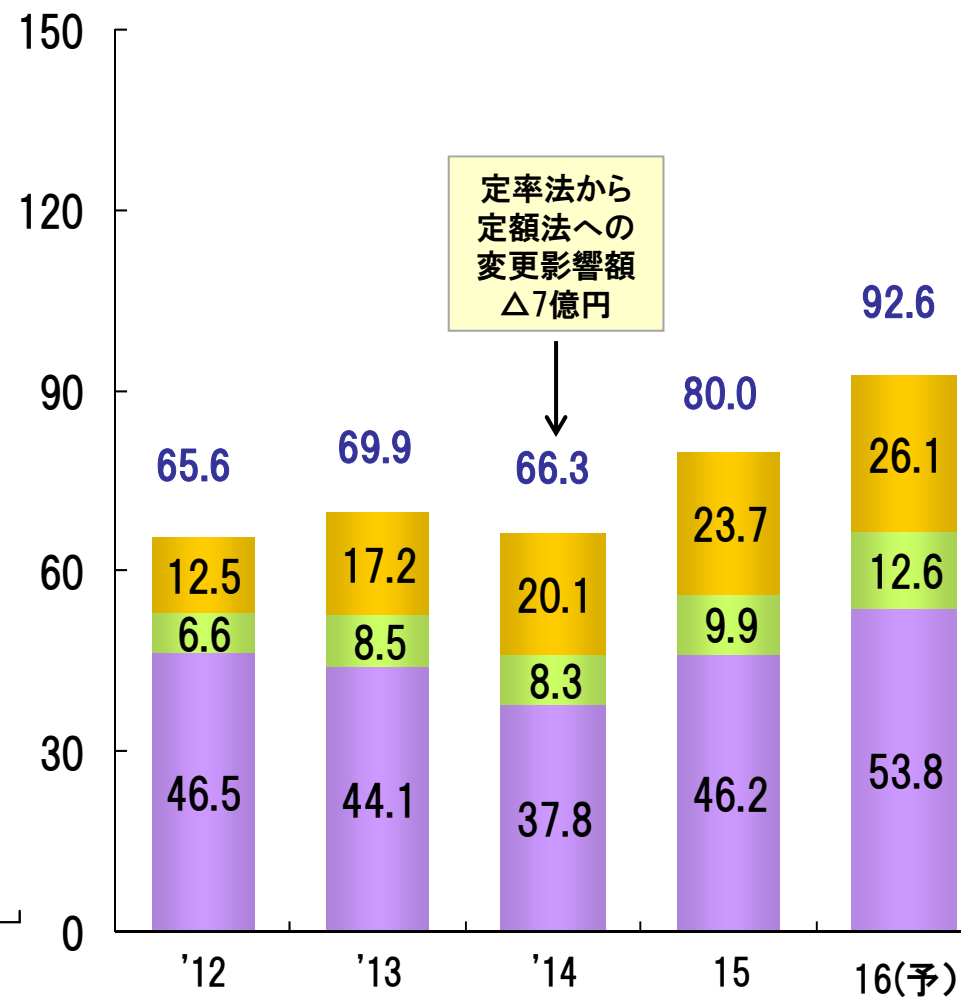
《設備投資》

(億円)



《減価償却費》

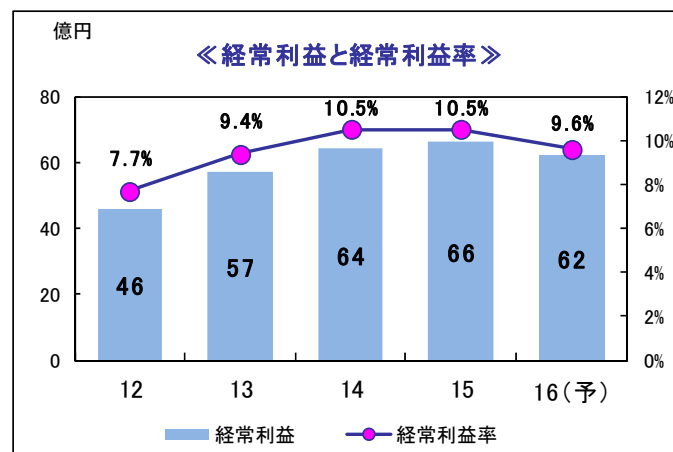
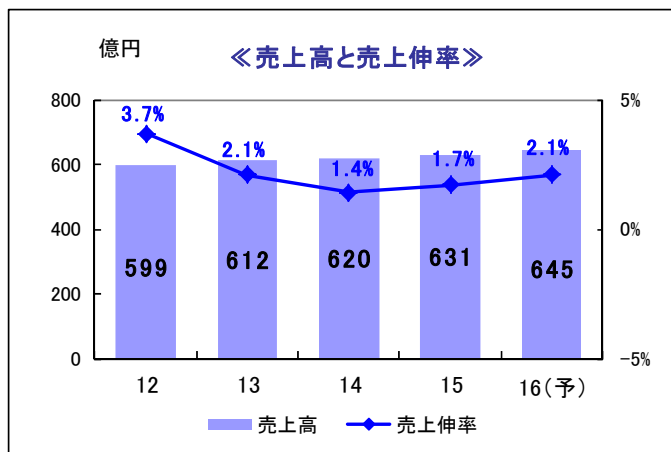
(億円)



2-14 <参考>個別業績実績・予測

[百万円]

	14年度	'15年度				'16年度		
		実績	前期比			予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
売上高	62,080	63,146	1,066	1.7%		64,500	1,354	2.1%
営業利益	5,115	過去最高 5,361	245	4.8%		5,000	△361	△6.7%
経常利益	6,493	過去最高 6,660	167	2.6%		6,200	△460	△6.9%
当期純利益	4,643	過去最高 5,350	706	15.2%		4,450	△900	△16.8%
配当金(1株当り)	24円	26	2	8.3%		26	—	—
売上利益高率	10.5%	10.5%	—			9.6%	△0.9%	
R O E	9.4%	9.9%	0.5%			8.0%	△1.9%	
R O A	6.5%	6.4%	△0.1%			6.0%	△0.4%	
一株当り純資産	(円) 1001	996	4	△0.5%		—	—	—



3-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

GLOCALとは、「GLOBAL」と「LOCAL」を組み合わせた造語です。私達は、世界(GLOBAL)を舞台に成長を図り、それぞれの地域(LOCAL)の発展に貢献したいと思っています。

めざす企業像・機能のあり方

<創立100周年 2030年への一里塚として策定>

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”(深化・進化・新化・真価・信加)を追求する企業

5つの“シンカ”



- ① 深化 : 改善する力
- ② 進化 : 革新する力
- ③ 新化 : 新技術・事業を起こす力
- ④ 真価 : 企業価値を高める力
- ⑤ 信加 : 信頼を勝ち取る力

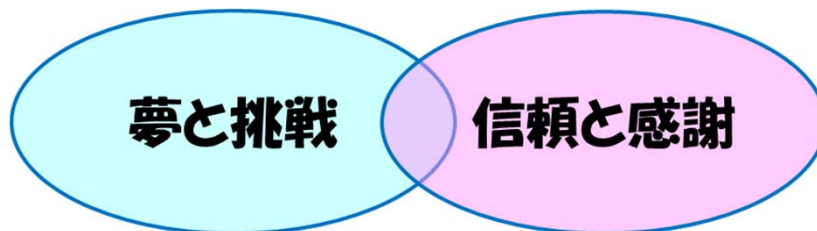
CSRのトライアングル



(創業85周年を機にグループ共通の価値観を整理)

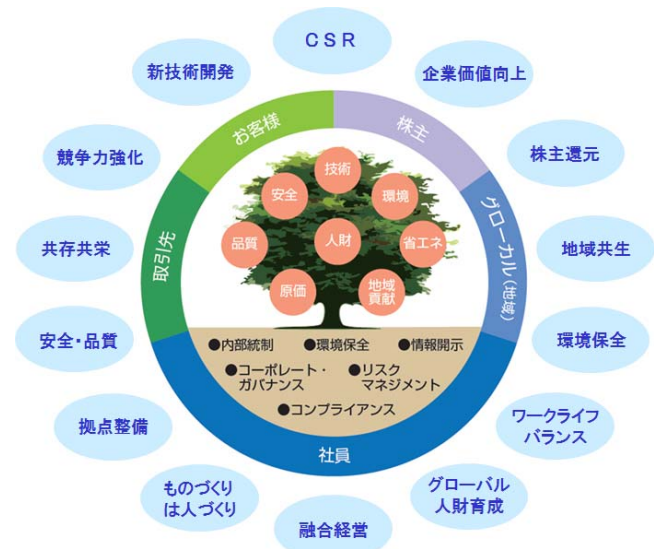


企業価値向上の取組み



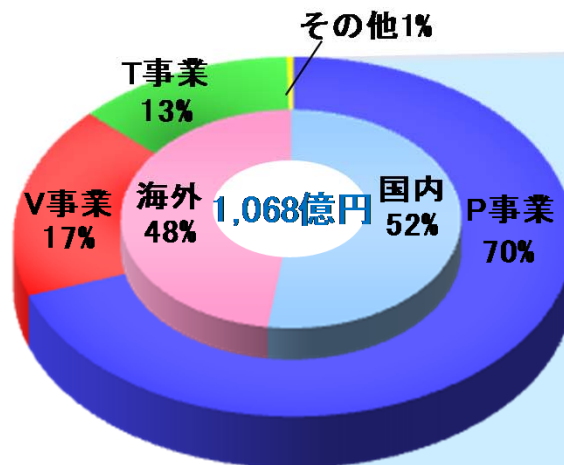
- ・常に夢(目標)を持ち、失敗を恐れず挑戦する。
- ・失敗しても次の夢への糧にし、その夢を追い続ける。

- ・「和」を大切にし、常に相手の立場に立って考える。
- ・自然に「ありがとう」という言葉が生まれる風土をつくる。



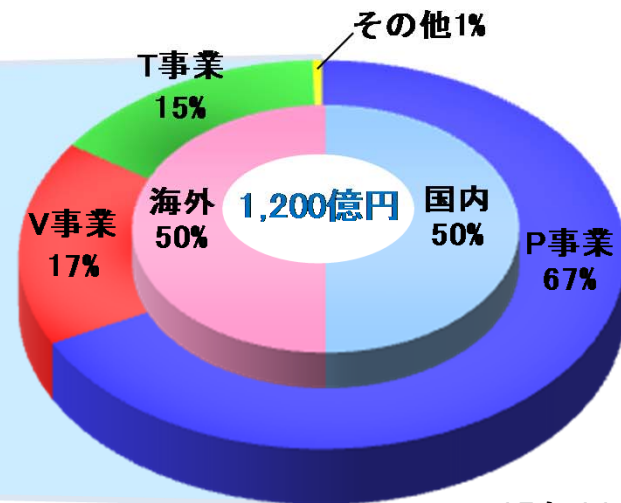
3-3 中期経営計画「OCEAN-18」

2015年度 実績



為替 121円/\$

2018年度 目標

15年11月改訂
為替 115円/\$

2018年度 目標

連結売上高	: 1,200億円
連結経常利益率	: 8%台
海外売上高比率	: 50%以上
総資産回転率	: 1.05回転以上

P事業・・・プレス・樹脂加工 V事業・・・タイヤバルブ・空調バルブ T事業・・・TPMS(タイヤ空気圧監視システム)

3-4 主な戦略投資の内容

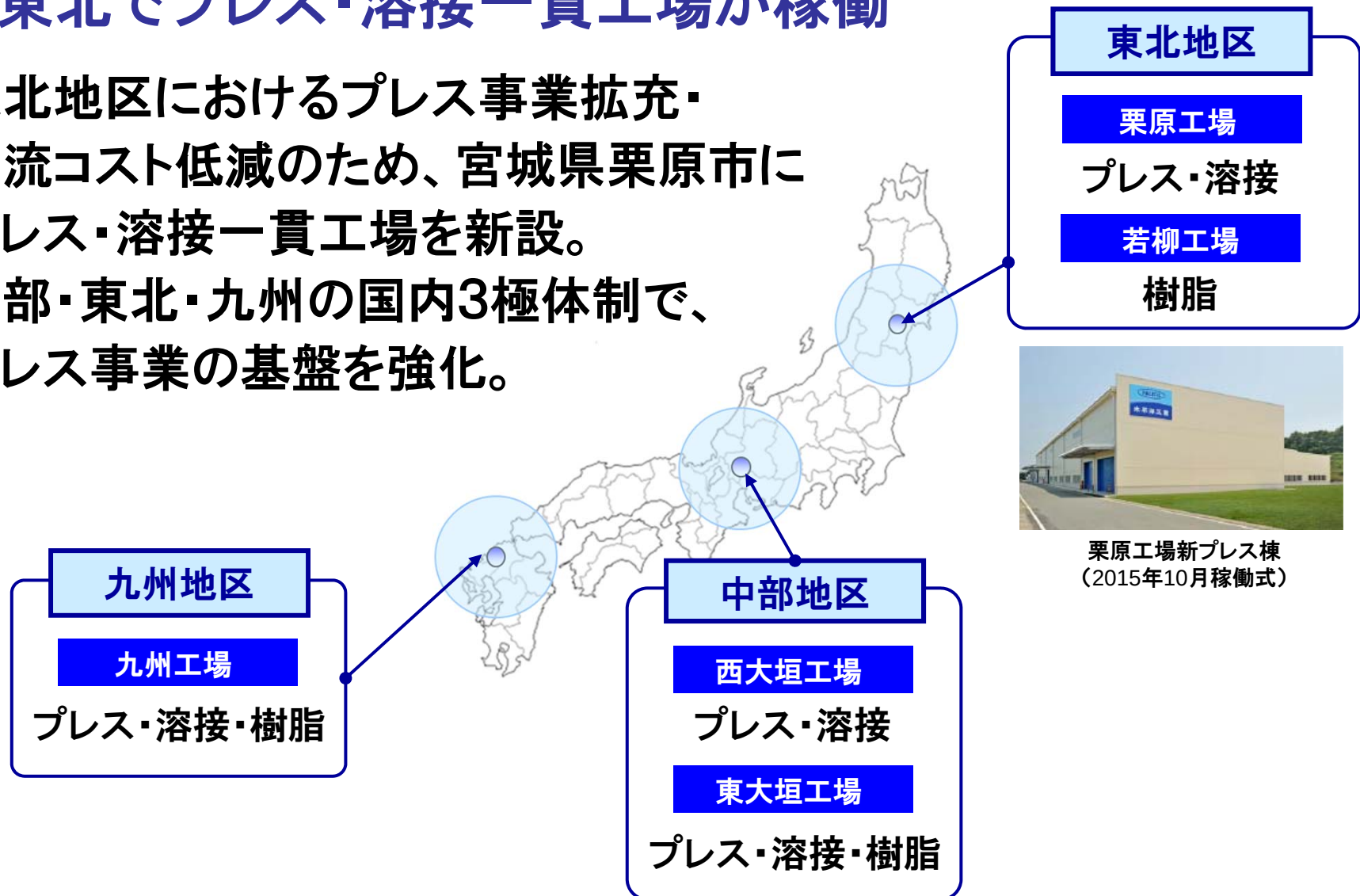
(単位: 億円)

事業	地域	内容	14年度	15年度	16年度	13-16累計
プレス樹脂	日本	東北地区拠点整備(プレス・溶接一貫工場建設)	18.0	4.0	—	23.0
	日本	超ハイテン、ホット・スタンプ拡充	10.0	2.0	12.0	35.0
	北米	米国 プレス事業拡充(第2拠点工場・設備)	38.0	11.0	10.0	59.0
	アジア	中国天津 プレス増設 他	—	—	—	16.0
	アジア	中国長沙 プレス工場・設備 他	14.0	—	—	29.0
	アジア	タイ 工場・樹脂設備 他	3.0	2.0	1.0	9.0
	プレス・樹脂事業 計		83.0	19.0	23.0	171.0
TPMS	アジア	中国常熟 TPMS工場・設備	2.0	17.0	—	19.0
	TPMS事業 計		2.0	17.0	0.0	19.0
バルブ	日本	高精度プレス事業の増強	1.0	11.0	19.0	32.0
	アジア	韓国 アルミダイカスト工場・設備	8.0	3.0	6.0	30.0
	バルブ事業 計		9.0	14.0	25.0	62.0
主な戦略投資の合計			94.0	50.0	48.0	252.0
総投資額			153.9	119.8	128.6	513.9

3-5 国内プレス・樹脂事業の拡充

■ 東北でプレス・溶接一貫工場が稼働

東北地区におけるプレス事業拡充・
物流コスト低減のため、宮城県栗原市に
プレス・溶接一貫工場を新設。
中部・東北・九州の国内3極体制で、
プレス事業の基盤を強化。



3-6 プレス事業の拡充

■ 1,180MPaの超ハイツェン材のプレス加工ライン増強

自動車メーカーの軽量化ニーズに応えるため、超ハイツェン加工能力を増強。日米中グローバル生産体制を拡充。更にホットスタンプの設備を増強。

	導入拠点		加圧能力(t)	稼働時期
冷間プレス	日本	九州	2500	'14年2月
		大垣	3000	'14年10月
	北米	米国	3000	'16年5月
	中国	天津	2500	'14年1月
ホットスタンプ	日本	大垣	500	'14年5月
		大垣	800	'17年春予定
	北米	米国	800	'17年秋予定



センターボディピラー

18年度売上高増加見込:15年度比約60億円

ホットスタンプとは

電気炉で約900℃に加熱した鋼板をプレス加工し、高い強度を持たせる工法。

3-7 北米プレス事業の拡充

■ 北米第2拠点で生産を開始

北米の自動車産業拡大を見据え、
テネシー州ジャクソン市近郊に第2生産拠点を設立。
2015年8月から生産を開始。

18年度売上高増加見込: 15年度比約30億円



Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.



グランドオープニングセレモニー(16年5月)

3-8 樹脂事業の拡充

■タイで樹脂事業を多客化

Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd.で樹脂製品を生産開始。
技術・デザイン・コスト競争力が評価され、
日系自動車メーカー7社から受注を獲得。

18年度売上高増加見込:15年度比約10億円

■中国天津・長沙で樹脂製品を生産開始

■セレクトアブルカラートリムホイールを開発

トヨタ自動車「技術開発賞」受賞

アルミホイールに樹脂パーツをワンタッチで
取付け、軽量化と高意匠性を実現。
レクサスRX・新型プリウスにて採用。



セレクトアブルカラートリムホイール

3-9 高精度プレス事業の拡充

■ 高精度プレス加工の能力増強

エンジン・トランスミッション等の部品を高精度プレス加工し、ネットシェイプと機能アップを実現。

TNGA推進に伴い需要増化。

生産能力増強、新技術と多客化により、売上拡大をめざす。

17年度より北米で高精度プレス事業を開始予定。

18年度売上高増加見込：15年度比約6億円



高精度プレス加工によるネットシェイプ



オートマチックトランスミッション用ハブ

3-10 ダイカスト事業の拡充

■ 韓国：太平洋エアコントロール工業で アルミダイカスト事業を拡充

カーエアコン用コンプレッサーの
ケーシング部品をダイカストから
切削加工まで一貫生産。
自動車部品への拡販による
物量増に伴い、生産能力増強予定。



カーエアコン用コンプレッサー

18年度売上高増加見込：15年度比約30億円



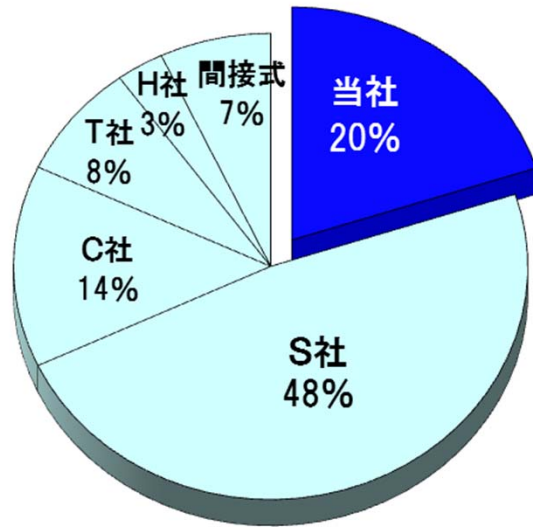
オイルポンプカバー



モーターハウジング

3-11 TPMS事業の拡充

■TPMS送信機 北米シェア



■各地域の法制化の動き

地域	法規開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
中近東	2017年モデル
中国	未定
日本	未定

■TPMS送信機の生産・販売拠点

生産・販売拠点		販売先
日本	大垣	世界全域
米国	オハイオ	北米、欧州
中国	常熟	中国、他
ベルギー	ブリュッセル	欧州

中国 常熟でTPMSの生産を開始(16年4月)
 グローバルでの生産能力:2,500万個/年



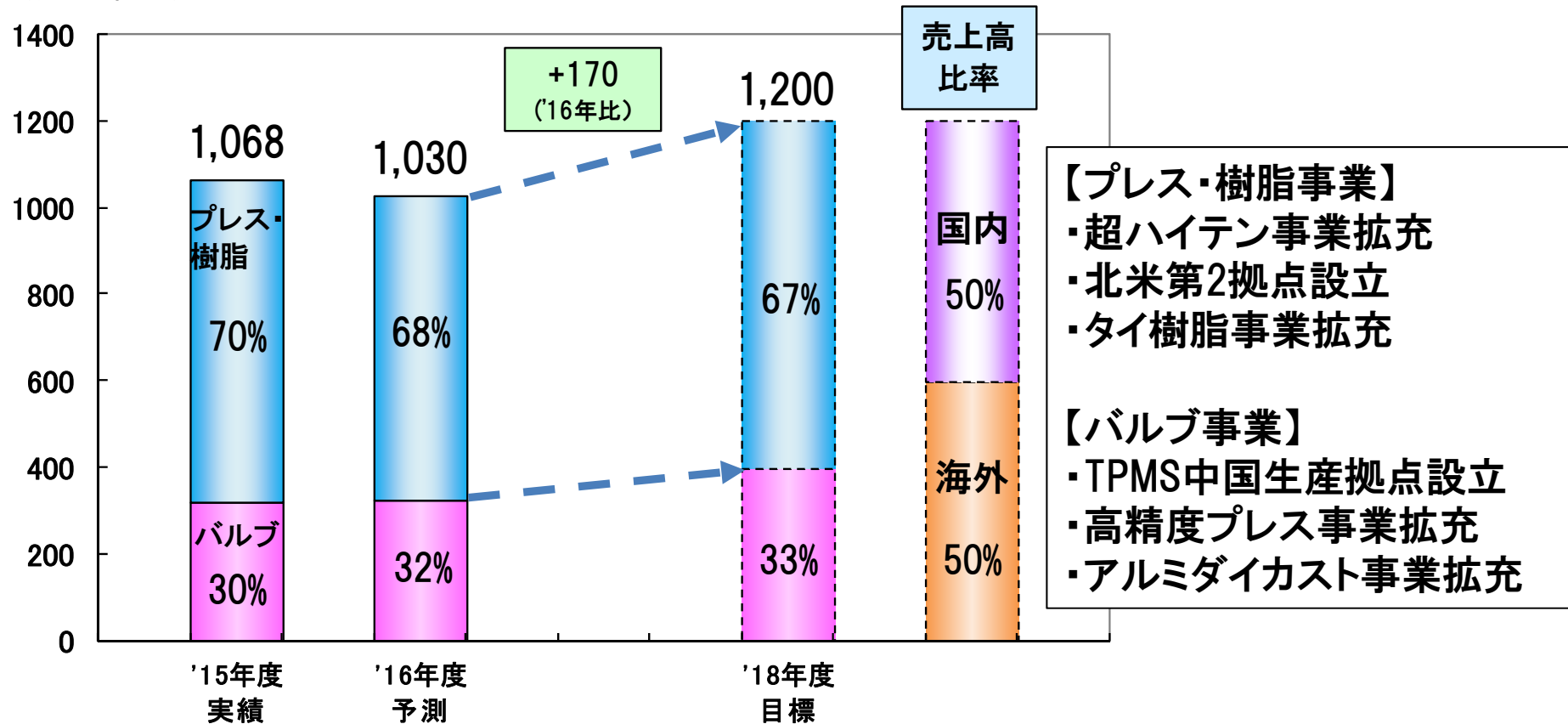
スナップインタイプ



クランプインタイプ

3-12 OCEAN-18の進捗状況

(売上:億円)



3-13 グローバル生産拠点

持続的成長をめざし、市場動向・お客様ニーズを踏まえた拠点整備を推進。

	日本	北米・欧州	中国・台湾	韓国	タイ
プレス	○	○	○	—	—
樹脂	○	○	○	—	○
バルブ	○	○	○	○	○
TPMS	○	○	○	—	—
高精度プレス	○	○	—	—	—
アルミダイカスト	—	—	—	○	—

※  は新事業・事業拡充を推進している主な生産拠点

4-1 コーポレートガバナンス

ガバナンス・コード73項目をフルコンプライ

■ 独立相談窓口の開設

経営陣から独立した窓口を設置

■ 社外役員による定期連絡会を開催

社外役員が取締役会で適切な関与・助言ができるよう、
社外役員同士が情報交換・認識共有する場を充実

■ 招集通知の3週間前開示、インターネット行使の導入

株主総会において議決権を行使し易い環境を整備

第92回定時株主総会のご案内

■日時

平成28年6月18日(土曜日)
午前10時

■場所

岐阜県大垣市万石2丁目31
大垣フォーラムホテル 3階
青雲の間
(本社より約7km)



主な連結経営指標

	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3	'17.3(予)
売上高	837億円	919億円	999億円	1,068億円	1,030億円
営業利益	43億円	55億円	69億円	78億円	72億円
経常利益	53億円	70億円	86億円	90億円	83億円
当期純利益	28億円	45億円	67億円	71億円	60億円
売上高経常利益率	6.4%	7.7%	8.7%	8.4%	8.1%
ROA:総資産経常利益率	5.7%	6.6%	6.9%	6.8%	6.3%
ROE:株主資本利益率	6.4%	8.7%	10.2%	9.7%	8.0%
1株当たり当期純利益	52.57円	85.80円	125.47円	132.42円	111.08円
自己資本比率	49.6%	49.5%	55.5%	55.7%	57.7%
1株当たり純資産	900.89円	1,079.42円	1,385.19円	1,339.62円	1,423.48円
配当性向	20.9%	18.6%	19.1%	19.6%	23.4%
期末株価	563円	692円	983円	1,133円	—
PER:株価収益率	10.71倍	8.07倍	7.83倍	8.56倍	—
PBR:株価純資産倍率	0.62倍	0.64倍	0.71倍	0.85倍	—